

校報



はが

令和6年10月30日

No.105

『波賀を愛し、自分を磨き、認め合い高め合う心豊かな児童の育成』 つなぐ手、つなぐ心、めざす夢

成長の秋

小学校での学びと子どもたちの成長

波賀小学校 教頭 庄 健裕

朝晩の冷え込みに秋の深まりを感じる季節となりました。保護者の皆様、そして地域の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

先日の運動会では、子どもたちが全力を尽くして競技に臨み、クラスや学年を越えて励まし合う姿が見られました。また、そんな子どもたちの様子に対して、応援席からも大きな拍手が起り、会場全体が一つになったように感じました。このような経験は、子どもたちにとって大きな自信となり、これからの成長にもつながるものと思えます。

さて、10月に入り、学校では運動会以外にもさまざまな教育活動が行われていますが、その一つひとつの活動において、子どもたちの成長を感じる瞬間がたくさんあります。

1年生は、春に比べて教室での活動に積極的に参加するようになり、集団でのマナーやルールをより意識するようになっていきます。異年齢集団とも一緒に、運動会の準備（全校での草引き）やたわわり掃除などにも積極的に取り組んでいます。日々の活動を通じて、協力することの大切さを学び、仲間とともに一つの目標に向かって努力する姿勢が見られます。

2年生は、グループでの話し合い活動の機会が

増え、そのなかで誰もが自信をもって発言することができるようになってきました。また、身の回りの自然に対する関心を深めたり、探究心が芽生えたりもしています。生活科で実施した波賀の町探検では、B&G、はがてらす、だんだか、こここマートに行き、普段子どもたちが見たことのないような場所を見せていただいたり、各施設の方々の思いなどを聞かせていただいたりしました。活動後は、「知らなかったことが発見できてよかった。」「私たちが発見したことを1年生に伝えよう。」「感想をもち、最近では、学んだことを自分たちの言葉でまとめて発信するという活動に挑戦しています。」

3年生は、環境体験学習に取り組み、自然や地球環境の大切さについて学んでいます。これまでに、廃油をリサイクルしてろうそくを作ったり、波賀を流れる川の水生生物調査をしたりしました。また、国見の森での校外学習では、森林が私たちの日常生活に与えている恩恵についても学びました。森が空気をきれいにしてくれていることやさまざまな資源を提供してくれていることを知り、「自然を守るために自分たちにできることは何だろう。」「自分たちも自然を守る一員になりたい。」「真剣に考える姿が見られました。」

4年生では、しそ森林の探検隊に取り組み、自然の中でさまざまな発見や学びを経験しています。赤西渓谷では山奥での森林セラピー体験を通して、自然が生きていることを五感で感じる事ができました。子どもたちは、「こんなにたくさん生き物が一緒にくらしているんだ。」と目を輝かせながら活動に取り組むことができてきました。

せながら活動に取り組むことができてきました。また、波賀観光りんご園では、実際に自分たちの手でりんごを収穫し、普段食べている果物がどのように育てられ、私たちのもとに届いているのかを実感する機会を得ました。子どもたちは、りんごがおいしく育つためには長い時間と多くの手間がかかることを知り、「食べ物自分たちのもとに届くまでに、たくさんの方の手がかかっているんだ。」と驚きと感謝の気持ちを抱き、学びを深めていました。

5年生の総合学習では、地域の魅力と課題について考える活動に取り組んでいます。子どもたちは、波賀の町おこしや町づくりの積極的な取り組みでおられる方々（波賀元気づくりネットワーク）にインタビューを行い、「過去から現在に至るまでにどのような思いで地域おこし・地域づくりの活動に取り組んでこられたのか」や「これから先の将来にどのような取り組みを計画されているのか」などを詳しく聞き取りました。ある児童が、お話を聞いた後、「こんなに強い思いで波賀の町づくりがされていることを知らなかった。これからもっともっと波賀のことを知りたいし、守っていきたいと思う。」「感想を述べていました。地域に根ざした教育活動を通して、子どもたちが自分たちの故郷に対する誇りを持ち、未来へつないでいく姿に、私たち教職員も感動しています。」

さらに、6年生は、一学期から平和について深く学ぶ取り組みを進めてまいりました。子どもたちは、授業を通じて戦争の悲惨さや平和の尊さを学び、戦争を体験した方々のお話を聞いたり、資料を読み込んだりしながら、未来を担う自分たちが平和を守る大切さについて考えてきました。そして10月中旬には、その学びの集大成として、広島へ修学旅行に出かけました。広島への地を踏み入れた子どもたちは、まず平和記念公園を訪れ、原爆ドームを目の前にして、70年以上前の悲劇に思いを馳せました。事前に学んだ内容が頭の中でよみがえり、言葉少なに目の前の光景をじっと見つめる姿に、子どもたちがその重さをしっかりと受け止めていることが伝わってきました。ある児童は、原爆ドームを見つめながら「実際に見ると、思っていた以上に大きく感じた。ここに本当に多くの人がいたんだと思うと胸が痛い。」と引率教員に話してくれました。また、平和公園で折り鶴をささげ、原爆の被害にあった方々のこと

を思い、黙祷したり、5才で被爆された大田金次さんのお話に一生懸命に耳を傾けたりしました。佐々木禎子さんの物語に触れた際には、平和を願う心が一つになった瞬間がありました。子どもたちは一人ひとりが折った鶴を手に、「私たちが平和を守るために何が出来るだろう。」「真剣に考え、「私たちの未来に戦争があってははいけません。」と友だち同士で話し合いをしていました。その姿に平和の大切さがしっかりと心に根付いていることを感じました。この修学旅行を通じて、6年生は「平和とは何か」という問いに対して自分たちなりの答えを見つけ、これからの生活や未来に向けて強い意志を持っていくことを期待しています。子どもたちは、これからも平和を学び、考え続け、次世代にその思いをつないでいくこととして支えていく所存です。



全校生が折り鶴で作成した『平和の願い』ポスター

11月の行事予定

- 6日(水) SC・あおぞら文庫・クラブ活動
- 7日(木) 保幼小交流(4年生)
- 8日(金) 福祉体験(4年生)
- 12日(火) 歯科教室(2年生・5年生)
- 13日(水) SC・マラソン大会
- 18日(月) 学習発表会特別時間割開始
- 19日(火) しそ森林の探検隊(4年生)
- 20日(水) SC・読書ボランティア委員会
- 27日(水) SC・学習発表会リハーサル

12月1日(日) 学習発表会
2日(月) 振替休業日